

算数科学習指導案

令和〇年〇月〇日 (〇) 第〇校時

〇〇〇小学校

2年〇組 (〇名)

授業者 〇〇 〇〇

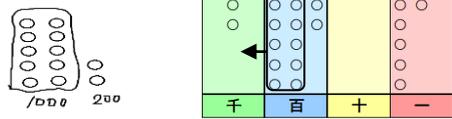
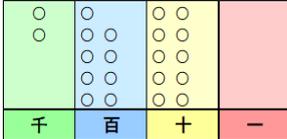
<単元・題材名> 4けたの数		<学習指導要領上の位置づけ> A数と計算 (1) ア、イ、ウ (2)イ	
<育成を目指す資質・能力> ○身の回りの数に関心をもち、十進位取り記数法によさに気づき、日常生活の中や学習に活用しようとする態度 ○十進位取り記数法の仕組みを考え表現したり、数を相対的な大きさから捉えたりする力 ○数を数えたり書き表したりする力 ○数や式の大小・相等関係を、不等号や等号を用いて表す技能 ○数の読み方や表し方、数の構成や大小、順序、数の相対的な大きさについての理解			
<単元の目標> 10000 までの数について、その意味や表し方を理解し、数の概念についての理解を深めるとともに、数を用いる能力を一層伸ばす。			
評価 規 準	関心・意欲・態度	身の回りの数に関心をもち、十進位取り記数法によさに気づき、日常生活の中に活用しようとしている。	
	数学的な考え方	十進位取り記数法の仕組みを考え表現したり、数を相対的な大きさから捉えたりしている。	
	技能	4位数について数えたり書き表したりできる。 数や式の大小・相等関係を、不等号や等号を用いて表すことができる。	
	知識・理解	4位数について、数の読み方や表し方、数の構成や大小、順序、数の相対的な大きさを理解している。	
児童 の 実 態	(省略)		
指 導 方 針	○数を位取り板に整理する活動を通して、数のまとまりやまとまりが 10 個集まると次の位に繰り上がることを意識させたい。 ○これまでの学習で、理解が不十分な児童は自分の考えを授業中に発言したりノートにうまく書いたりすることができなかった。そこで本単元では、児童の言葉をつなぎ、丁寧に全体に共有していくことで、全員の学びを促していく。 ○既習事項と関連付けたり、言葉や図、数、式の表現を結びつけたりしながら理解を深めていくようにする。 ○言葉や数だけでは理解しづらい児童に対して、生活に身近なお金の絵などを位取り板に対応させながら示し、数の構成などについて理解できるようにする。		

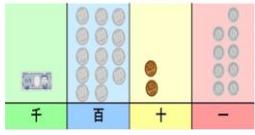
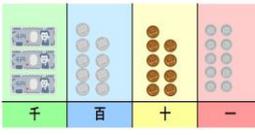
単元計画

過 程	時 間	ねらい	評価			
			関	考	技	知
で あ う	1	10000 未満の数の数え方と命数法、記数法、4位数の位取りの仕組み等を理解するとともに、身の回りの数に関心をもつことができる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">単元の課題：1000より大きい数のしくみを考えよう。</div>	○			○
	2					
追 究 す る	3	空位のある4位数について考え、記数法の仕組みの理解を深める。		○		
	4~6	数の構成や相対的な大きさについて理解する。(本時は第4時)			○	○
	7	4位数を数直線で表し、4位数の大小、順序、相対的な大きさを理解する。				○
	8	10000の構成と数の読み書きを理解する。				○
つ か う	9	10000までの数を数直線を使い読んだり表したりし、数の相対的な大きさを捉える。		○		
	10	10000までの数の構成を多面的に考え、数の見方を豊かにする。		○	○	○
	11					

本時の展開 (4/11 時間)

ねらい：位取り板を使って数を表す活動を通して、10000 未満の数の構成について理解する。

準備	前時の板書（模造紙）、掲示用問題（黒板用）、ワークシート	
時間	学習活動 (発問と予想される児童の反応)	○指導上の留意点及び支援 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
5分	<p>1. めあてを設定する</p> <p>【問題】たくさんのお金があります。 ぜんぶでいくらですか。</p> <p>S：うわー、たくさんあるね。 S：それぞれまとめて数えればいいよ。 S：位取り板を使えばわかるよ。</p> <p>【めあて】たくさんのお金を正かくに わかりやすく数えよう。</p> <p>T：ばらばらに入っているお金を位取り板に書いてみよう。 (1000 が 2、100 が 12、10 が 0、1 が 6)</p> <p>S：百の位に 100 円が 12 個ある。 S：位の中に 12 個入ってもいいのかなあ。</p>	<p>○導入ではお金を数えるクイズを用意し、学習への意欲を引き出す。また、バラバラの状況のお金を提示して児童の問いを引き出す。</p> <p>○前時の授業で使った、位取り板を掲示しておき、前時を振り返ることができるようにする。</p> <p>○前時でまとめた数カード（お金）の枚数が、それぞれの位に入る数字であることを確認する。整理する必要感をもたせた上で、少しずつ位取り板に整理していき、前時との違いに気付けるようにする。</p>
5分	<p>2. 個別に追究する</p> <p>T：では、位取り板で答えをだしてみましよう。いくつになるのか数えてみよう。</p>	<p>○友だちが聞いてわかりやすい説明になるように、ノートに写した位取り板には、図や言葉を書き加えて説明するよう伝える。</p>
	<p>〈予想される考え〉</p> <p>S：12 個を 10 個と 2 個にわける。10 個はとなりの位に移動する。2 個は残る。</p> <p>S：百の位に千ができるから、繰り上がって、3206（正答）</p>	<p>図 </p> <p>言葉 千が～個、百が～個、十が～個、一が～個 あわせて・・・</p>
5分	<p>3. 全体で共有する</p> <p>T：考えを発表して下さい。</p> <p>S：100 が 10 個で 1000 になります。</p> <p>S：1000 はとなりの部屋に移動します。</p> <p>S：千が 3 個、残った百が 2 個、十が 0 個、一が 6 個です。</p> <p>S：あわせて 3206 円です。</p> <p>【まとめ①】 100 が 10 個で 1000 になる。（繰り上がり）</p>	<p>◎戸惑っている児童に対して、100 の数カードを用意し、数えるといくつになるか考えさせる。</p> <p>○共有する場面では一人の発表を区切り、他の児童につなげていく。また、大事なところは、複数の児童に繰り返し説明をさせる。</p> <p>○先ほどの位取り板を使ってもう一度 100 が 10 個のかわりに 1000 を一つ、千の位において視覚的にも理解を深めるようにする。</p>
15分	<p>4. 考えを深める (個別に追究する)</p> <p>T：もうひとつお財布があったよ。いくらでしょう。</p> <p></p> <p>(予想される考え)</p> <p>S：千が 2、百が 9、十が 10、一が 0 なので 29100。（誤答）</p> <p>S：十の位が繰り上がって 21000。（誤答）</p> <p>S：十の位と百の位が繰り上がって 3000。（正答）</p>	<p>○考えを深める場面では、もう一問問題を解いて、数の構成について理解を深めていく。</p> <p>◎手がつかない児童には、板書の図をよく見るように声がけをする。</p>

	<p>(全体で共有する)</p> <p>T: どうすれば正確に数えられるかな。</p> <p>S: 10 円が 10 個そろると、100 円になります。</p> <p>S: 100 円になると百の位に移動します。</p> <p>S: 100 円はもとあった 9 個とくりあがった 1 個をあわせて 10 個。</p> <p>S: 100 円が 10 個で 1000 円になる。</p> <p>S: 1000 は全部で 3 つなので 3000 です。</p>	<p>○一の位から順番に見ていく必要があることに気づけるように、上の位から数を書いてみせる。</p> <p>○繰り上がった位は、何もなくなってしまおうのでどうするか考えさせる。</p> <p>○全員が説明を理解できるよう、足りない部分を問いかけ付け加えさせたり、途中で区切って続きを言わせたり、繰り返し説明させたりする。</p>
10分	<p>5. 学習をまとめる</p> <p>T: わかりやすく数えるために気をつけることは何だろう。</p> <p>S: 位に入る数字は 0~9 までで、10 個まとまったら繰り上げる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【まとめ②】</p> <p>10 個まとまったら、一つ上の位にうつす。</p> <p>それぞれの位に書く数字は 0 から 9 まで。</p> </div> <p>6. 適用問題に取り組む</p> <p>①</p>  <p>②</p>  <p>7. 振り返る</p> <p>S: 前にやった 3 けたの数の問題に似ていた。</p> <p>S: 10 個集まったら上の位にいくことがわかった。</p> <p>S: もっと大きな数でもやり方は変わらないのかな。</p>	<p>○児童の気づきを引き出し、生かしてまとめていく。</p> <p>○同じ大きさの数でも、様々な表し方があることを伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◇評価</p> <p>各位は 10 個集まると、次の位に繰り上がることを理解している。</p> <p>(発表・ノート) 【知識・理解】</p> </div> <p>○学習して思ったこと、感じたことをノートに書くようにする。</p>